

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

レビュー項目 (事業名)	情報収集の強化等によるアライグマ・ヌートリアの被害軽減に向けた支援強化 (特定外来生物被害対策事業)				部(局)	環境部
					所管課	自然鳥獣共生課
					担当班	自然環境保全班
					連絡先	078-362-3274
開始年度	平成15年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県環境基本計画	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町
事業目的	市町によるアライグマ、ヌートリアの捕獲・搬入及び安楽死処分に係る実施経費の一部を助成し、迅速かつ効果的な捕獲を進め、アライグマ、ヌートリアの分域拡大・定着防止と、農林業・生活環境被害の低減を図る。					
事業概要	市町がアライグマ、ヌートリア対策として実施する①わな等による捕獲、②炭酸ガス等による安楽死等殺処分、③死体処分のためのクリーンセンター等への搬入に要する経費の一部を補助する。					
業務フロー						
R4レビュー時の外部委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> モデル地区を設定してデータを集め、その分析結果を他の地域に展開すべき。 幅広いデータ収集が可能となった際には、アウトカム指標にアライグマ等のわなの捕獲効率を設定し、わなをどこに設置するのが効果的かの分析や、捕獲数、設置方法、捕獲までの時間等を分析すべき。 住民の力も借りられるよう普及啓発等のやり方を検討すべき。 					
改善結果 <small>改善状況取組過程</small>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に、実際に防除を行う市町から、現行の捕獲頭数に加え、捕獲場所、方法等の情報もあわせて収集、データ化を行い、森林動物研究センターとも連携した分析・検証の上、捕獲の効率化に向けた具体的な検討を実施。分析・検証に十分なデータ収集ができていたのは1市のみであったが、当該市においては繁殖地が可視化され、より効率的で効果的な捕獲が可能となった。 外来生物対策協議会を中心に、専門家とも連携しつつ、先進的な取組や効果的な対策について、行政職員向けに分かりやすい普及啓発を実践。 					
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度当初予算額	7年度当初予算額
	事業費①		14,975千円	14,000千円	15,750千円	15,750千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	14,975千円	14,000千円	15,750千円	15,750千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(14,975千円)	(14,000千円)	(15,750千円)	(15,750千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		14,000千円	14,000千円	15,750千円	15,750千円
	執行率((①/②)×100)		107.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③(a+b+c)		従事人員 1.8人	従事人員 1.8人	従事人員 1.8人	従事人員 1.8人
			14,863千円	14,850千円	15,696千円	16,195千円
	職員給与費 a	12,845千円	12,881千円	13,678千円	14,225千円	
	賞与引当金繰入額 b	1,049千円	1,069千円	1,049千円	1,069千円	
	退職手当引当金繰入額 c	968千円	900千円	968千円	900千円	
総コスト(①+③)		29,838千円	28,850千円	31,446千円	31,945千円	

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】
評	成果指標(アウトカム指標①) アライグマ・ヌートリアの被害額(千円) (環境基本計画 計画指標の内訳)	目標	60,400	58,500	56,600	54,687	54,687
		実績(見込)	61,763	63,765	(56,000)	(55,000)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(0千円)	(0千円)	(1千円)	(1千円)	
		達成率(見込)	102.3%	109.0%	(98.9%)	(100.6%)	
価	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
指	活動指標(アウトプット指標①) 年間捕獲頭数 (活力あるふるさとひょうご実現プログラム)	目標	8,000	8,000	9,000	9,000	9,000
		実績(見込)	9,789	9,491	(9,000)	(9,000)	【R6年度以降】
		(単位当たりコスト)	(3千円)	(3千円)	(3千円)	(4千円)	
		達成率(見込)	122.4%	118.6%	(100.0%)	(100.0%)	
指	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
指	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
標	終期設定	有 ()				無	
	改善基準						
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・農業被害の減少効果のある5千頭を上回る頭数を捕獲目標に設定している。 ・農業被害が減少しない状況を踏まえ、令和2年度及び令和6年度には、毎年の捕獲実績も勘案の上、目標の見直しを実施した。		B : ほぼ満足のいく実施状況	・森林動物研究センターと連携し、収集したデータを分析した結果を県内市町に情報提供した結果、一定の捕獲頭数を確保している。 ・引き続き、より効率的で効果的な捕獲方法に関する助言を行うことで捕獲頭数を増加させ、農業被害を減少させる。	
○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・市町交付金は、一頭あたりの上限を設定した上で交付していることから、市町にコスト削減を促す仕組みとなっている。					
評	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
価	説明 { 引き続きデータ分析に必要な情報収集に努めるとともに、分析結果を共有し、捕獲状況等の推移を注視していく						
外	○委員会の意見を踏まえ、令和5年度以降、捕獲場所・方法等の詳細な情報収集とデータ化を進め、森林動物研究センターとの連携による分析・検証を実施した点は、科学的根拠に基づく施策展開として高く評価できる。						
	○また、分析結果を市町と共有し、効率的な捕獲方法の助言を行うことで、捕獲頭数の確保と被害額の減少に一定の成果が見られている。 ○アウトプット指標として「啓発活動実施回数」(できれば地域ないしは市町ごとに詳細を確認できることが望ましい)を設定することにより、アウトカムとの関連性を意識できるようにしておくことが、今後のモデルケースの横展開を図っていく上で望ましい。 ○今後は、都市部における生活被害への対応強化や、住民参加型の普及啓発の工夫、さらに捕獲効率を指標化した評価体制の構築など、より実効性の高い対策の展開が期待される。						
委員							
意見							